

2017年度(平成29年度)下水道事業の決算見込みの概要

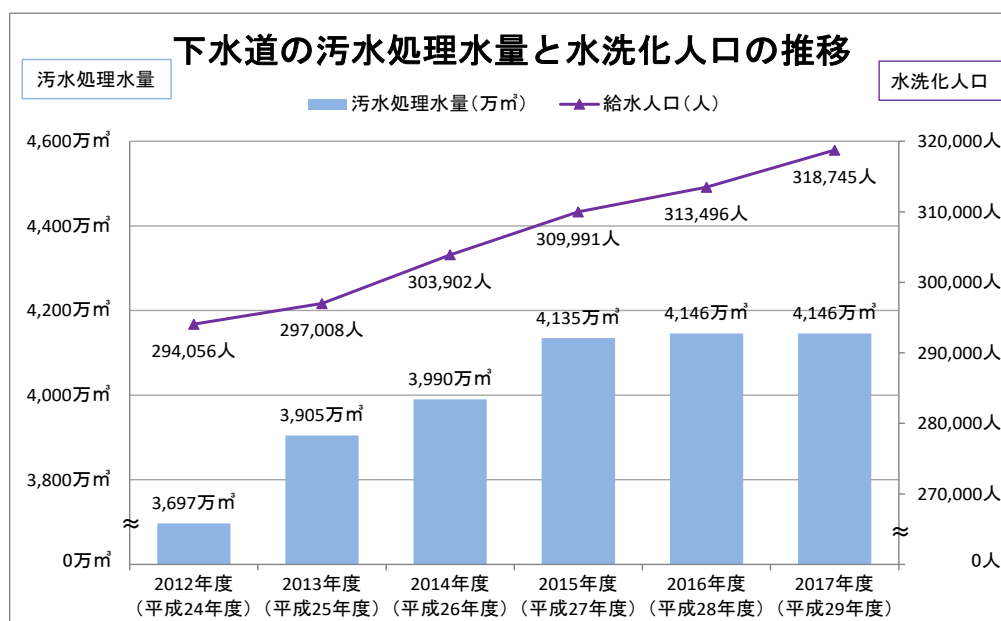
2017年度(平成29年度)下水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

下水道事業

1 業務状況

下水道事業の業務状況は次のとおりです。

事 項	2017年度 (平成29年度)	2016年度 (平成28年度)	増 減
処 理 区 域 内 人 口	340,672 人	336,349 人	4,323 人
普 及 率	72.6 %	71.6 %	1.0 點
水 洗 化 人 口	318,745 人	313,496 人	5,249 戸
水 洗 化 世 帯 数	140,618 世帯	136,750 世帯	3,868 世帯
総 汚 水 処 理 水 量	41,461,084 m ³ /年	41,456,631 m ³ /年	4,453 m ³ /年
一 日 平 均 汚 水 処 理 水 量	113,592 m ³ /日	113,580 m ³ /日	12 m ³ /日



2 建設改良事業の概況

安全で快適な生活環境を確保するため、
2017年度(平成29年度)に実施した主な建設改良事業は次のとおりです。

○公共施設整備事業【21億7,211万円】

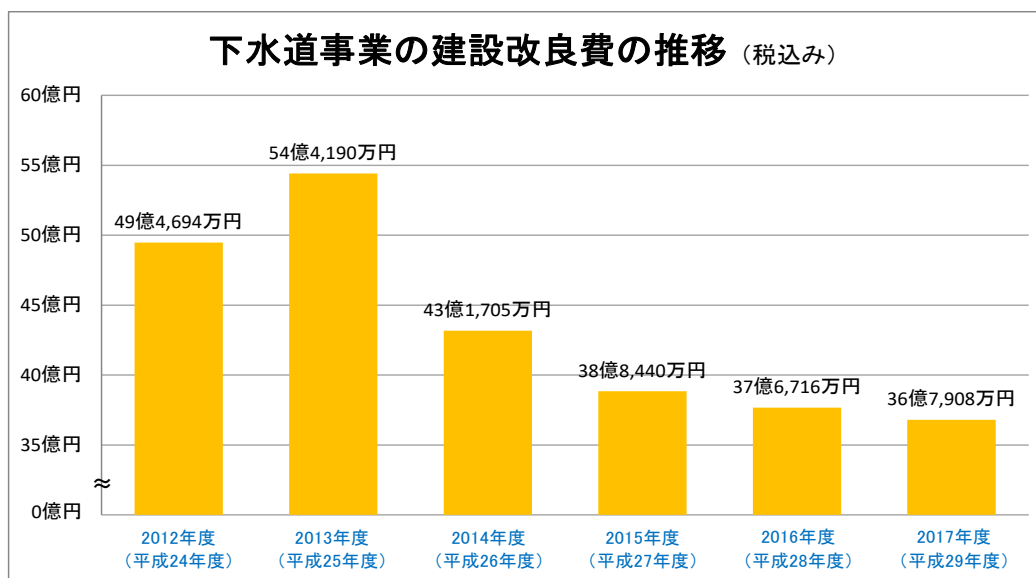
- ・中央2号・中央5号幹線築造工事
- ・下水道管渠耐震化工事
- ・下水道管渠長寿命化工事
- ・汚水幹線築造工事 ほか

○単独施設整備事業【13億6,172万円】

- ・手城ポンプ場改修工事
- ・高西東新涯ポンプ場建設負担金(尾道市) ほか

○流域下水道整備事業【8,890万円】

- ・芦田川流域下水道建設負担金



大型雨水幹線の整備(中央2号・中央5号幹線)



下水道施設の耐震化
※既設管の中に、地震に強い管を新しく造る

3 財政状況等

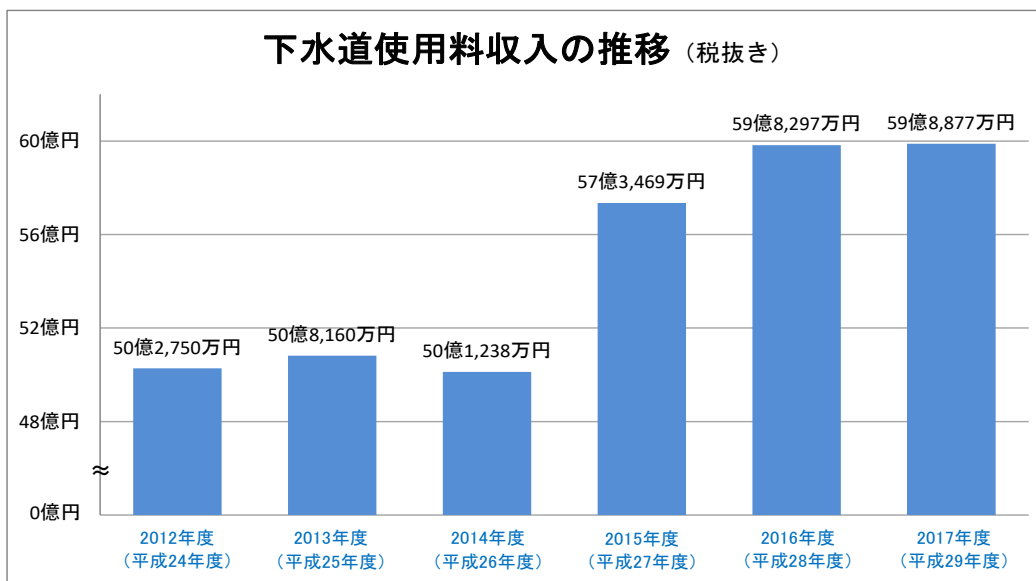
(1) 収益的収支(下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、産業廃棄物の処理に係る他都市負担分など特別利益が増加したものの、他会計負担金や長期前受金戻入などの減少により、前年度と比較して4億6,937万円(3.8%)減の118億8,523万円となりました。

一方、事業費用は、産業廃棄物の処理により特別損失が増加したものの、旧新浜浄化センター解体工事に伴う資産減耗費や支払利息などが減少したことにより、前年度と比較して6億59万円(5.6%)減の102億1,658万円となり、差引16億6,865万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2017年度 (平成29年度)	2016年度 (平成28年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、下水道料金収入)	118億8,523万円 (59億8,877万円)	123億5,460万円 (59億8,298万円)	△4億6,937万円 (579万円)
(うち、繰入金)	(35億7,174万円)	(40億5,458万円)	(△4億8,284万円)
収 益 的 支 出	102億1,658万円	108億1,717万円	△6億59万円
差 引	16億6,865万円	15億3,743万円	1億3,122万円

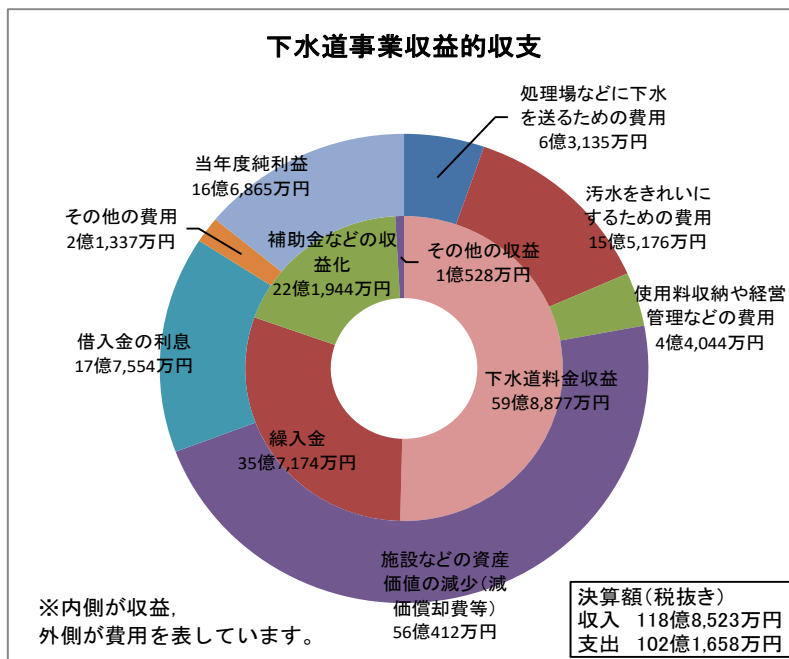


下水道事業損益計算書

【2017年(平成29年)4月1日から2018年(平成30年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	下水道使用料	59億8,877万円	下水道料金収益
	他会計負担金	14億5,524万円	繰入金
	その他営業収益	33万円	その他の収益
営業費用	管渠費	2億3,263万円	処理場などに下水を送るための費用
	ポンプ場費	3億3,312万円	
	処理場費	2億1,975万円	汚水をきれいにするための費用
	排水設備費	6,560万円	処理場などに下水を送るための費用
	流域下水道費	13億3,201万円	汚水をきれいにするための費用
	業務費	2億1,855万円	使用料収納や経営管理などの費用
	総係費	2億2,189万円	
	減価償却費	55億8,326万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	2,086万円	
	営業利益		△7億8,333万円
営業外収益	受取利息	54万円	その他の収益
	他会計負担金	21億1,650万円	繰入金
	長期前受金戻入	22億1,944万円	補助金などの収益化
	雑収益	3,348万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	17億7,554万円	借入金の利息
	雑支出	3,067万円	その他の費用
経常利益		17億8,042万円	
特別利益	固定資産売却収益	2,331万円	その他の収益
	その他特別利益	4,762万円	
特別損失	資産減耗費	5,020万円	その他の費用
	過年度損益修正損	117万円	
	その他特別損失	1億3,133万円	
当年度純利益		16億6,865万円	



(2) 資本的収支(下水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)などにより、50億1,574万円となりました。

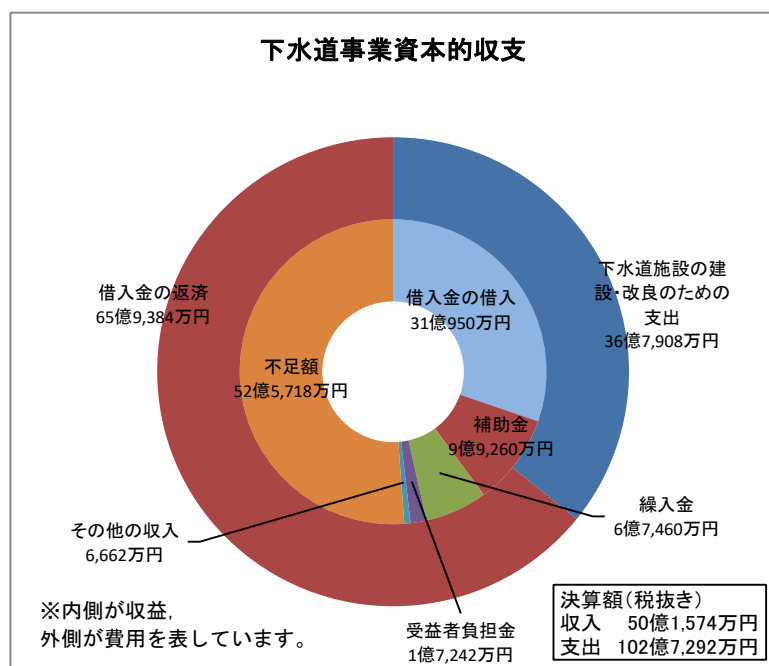
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)などにより、102億7,292万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は52億5,718万円となり、これについては、損益勘定留保資金などで補てんしました。

また、資金残高の状況については、前年度と比較して2,645万円増加し、12億2,527万円となりました。

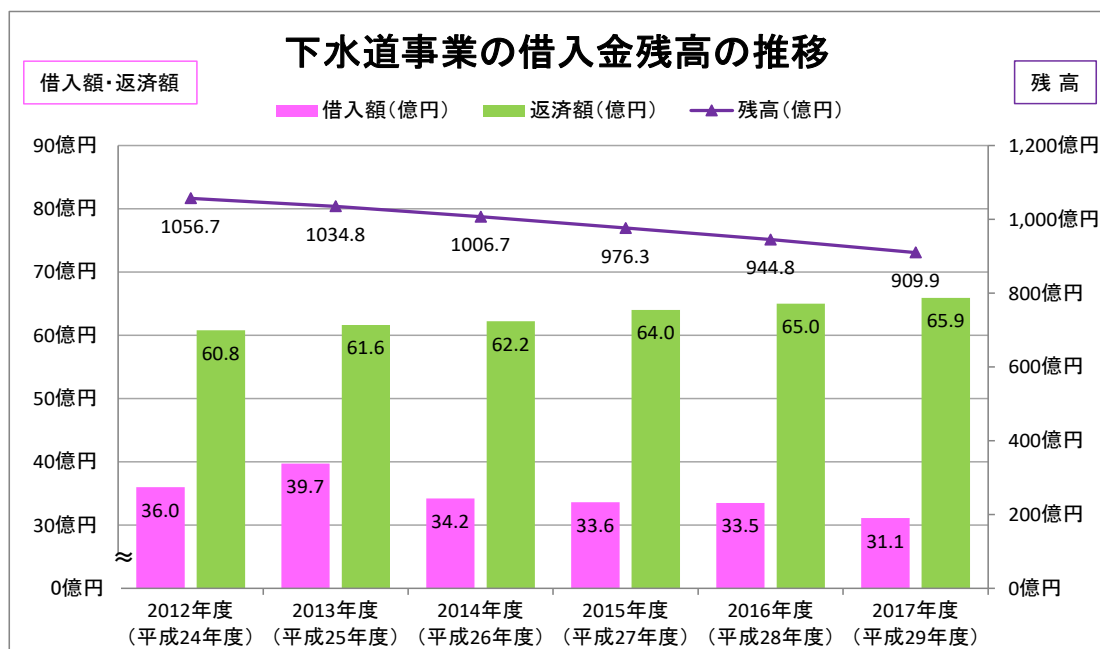
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	50億1,574万円	
企業債	31億950万円	借入金の借入
国庫補助金	9億9,260万円	国からの補助金
出資金	6億7,460万円	繰入金
工事負担金	4,657万円	その他の収入
受益者負担金	1億7,242万円	受益者負担金
受益者分担金	1,136万円	その他の収入
固定資産売却代金	869万円	
資本的支出	102億7,292万円	
建設改良費	36億7,908万円	下水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	65億9,384万円	借入金の返済
差 引	52億5,718万円	不足額



(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて34億8,434万円(3.8%)減少し909億9,394万円となりました。



(4) 貸借対照表

下水道事業の財政状態を示す貸借対照表は次のとおりです。

下水道事業貸借対照表

【2018年(平成30年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	1,725億1,688万円	固定負債	845億1,978万円
有形固定資産	1,649億8,835万円	企業債	843億7,786万円
無形固定資産	75億1,589万円	引当金	1億4,192万円
投資その他の資産	1,264万円	流動負債	81億4,377万円
流動資産	27億5,636万円	企業債	66億1,608万円
現金及び預金	23億9,285万円	未払金	14億7,854万円
未収金	3億9,358万円	前受金	1万円
その他流動資産	8万円	引当金	3,334万円
		その他流動負債	1,580万円
		繰延収益	668億5,249万円
		長期前受金	668億5,249万円
		資 本 の 部	
		資本金	115億6,798万円
		資本金	115億6,798万円
		剰余金	41億8,922万円
		資本剰余金	9億8,314万円
		利益剰余金	32億608万円
		(うち当年度純利益)	117万円
合 計	1,752億7,324万円	合 計	1,752億7,324万円

(5) キャッシュ・フロー計算書

下水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	22億706万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (下水道使用料の収納や汚水の浄化などに伴う現金・預金の収支)	48億6,565万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (下水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△18億5,872万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△28億2,114万円
当年度末の現金・預金の残高	23億9,285万円